

夜間休日救急診療所における状況等について

1 本市の救急医療体制について

本市の救急医療体制は、患者の重症度に応じて、初期、第二次、第三次救急医療の三段階に分けた体制をとっている。

- ・ 初期救急医療：比較的症状の軽い患者に対する救急医療
 ※宇都宮市夜間休日救急診療所
- ・ 二次救急医療：入院や手術が必要とする重症な患者に対する救急医療
 ※病院群輪番制病院5病院，医療機関12医療機関
- ・ 三次救急医療：命に関わる重篤な患者に対する救急医療
 ※栃木県救命救急センター（済生会宇都宮病院内）

【宇都宮市夜間休日救急診療所】

- ・ 本市においては、夜間及び休日における応急診療を必要とする軽度の救急患者の医療を確保するため、宇都宮市夜間休日救急診療所を設置し、初期救急医療体制を構築している。
- ・ また、平成14年度から24時間診療体制に移行し、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、大学病院等の全面的な協力により、診療体制を整え運営を行っている。

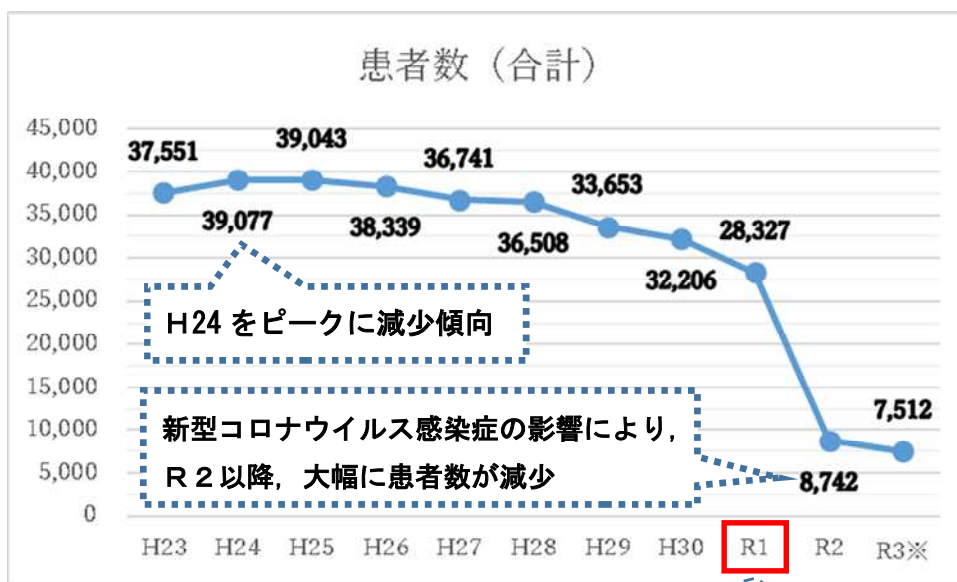
2 夜間休日救急診療所の概要

項 目	体 制
診 療 科 目	内科・小児科・歯科
診 療 時 間	休日昼間： 9時 ～ 17時 準 夜：19時 ～ 24時 深 夜：24時 ～翌朝7時 ※歯科は24時までの診療
診 療 体 制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師及び歯科医師等の医療スタッフについては、休日昼間、準夜、深夜帯の3交代の体制で対応している。 ・ 深夜帯（主に小児科）については、県外の大学病院に協力依頼し、医師を確保し配置している状況である。
後方支援病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院の必要はないが経過観察及び点滴などが必要な患者を当診療所から転送するため、内科は4病院，小児科は1病院と当診療所独自で委託契約し、円滑に転送を行う体制を整えている。

3 夜間休日救急診療所の状況等について

(1) 夜間休日救急診療所の患者数について

① 患者数 全体

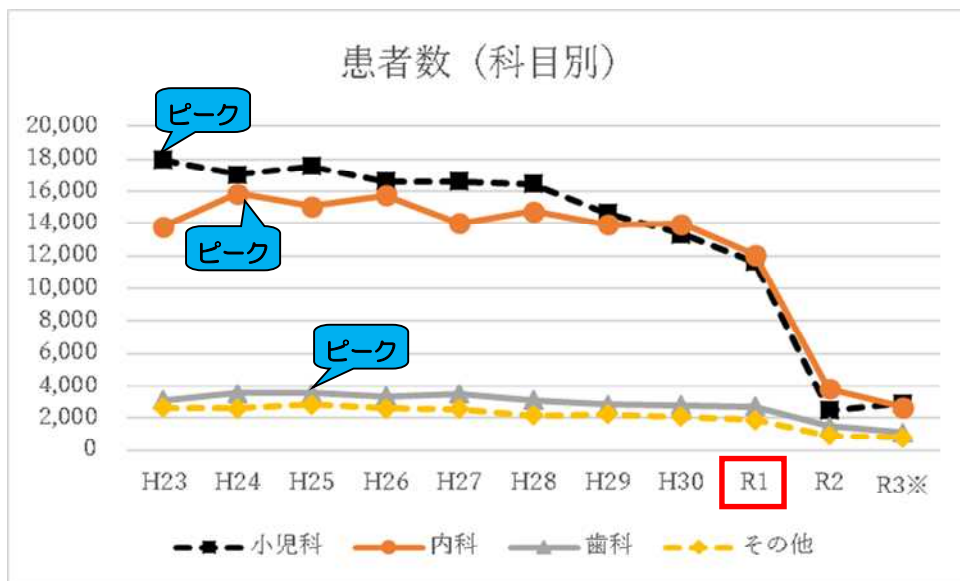


※ピーク時と直近の患者数を比較するにあたり、直近の年度を、新型コロナウイルスの大きな影響を受けていない「R1」とする。

【患者数全体】

- ・ H24 をピークに減少傾向であり、R1はH24に比べ、3割（約1万人）ほど減少しており、R2以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。

② 患者数 診療科目別（小児科・内科・歯科・その他）

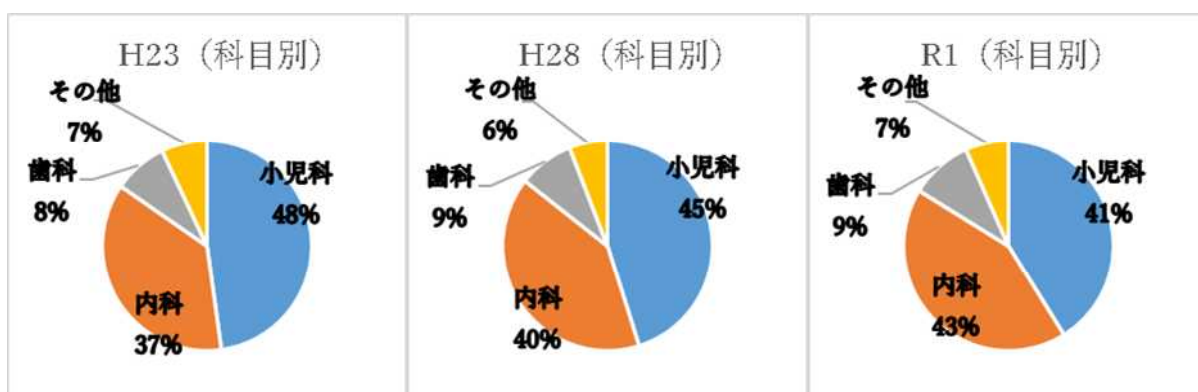


患者数（診療科目別）

（単位：人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3※
小児科	17,958	17,051	17,554	16,617	16,627	16,480	14,630	13,354	11,655	2,479	2,906
内科	13,800	15,891	15,076	15,771	14,026	14,760	13,939	13,974	12,074	3,842	2,700
歯科	3,137	3,539	3,567	3,365	3,528	3,110	2,848	2,803	2,710	1,519	1,104
その他	2,656	2,596	2,846	2,586	2,560	2,158	2,236	2,075	1,888	902	802
合計	37,551	39,077	39,043	38,339	36,741	36,508	33,653	32,206	28,327	8,742	7,512

※R3は4～12月まで



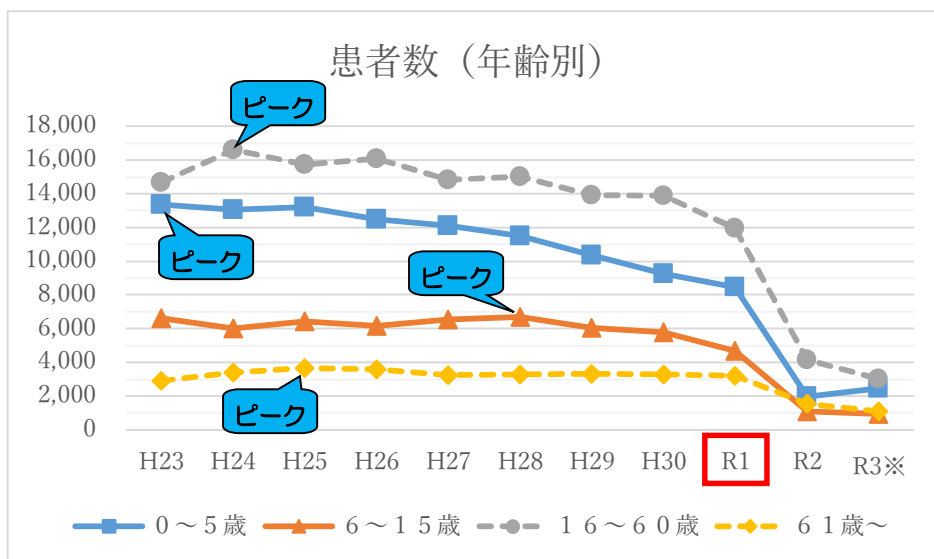
【診療科目別の患者数】

- ・小児科は、H23をピークに減少傾向にあり、R1はH23に比べ、3.5割ほど減少している。
- ・内科は、H24をピークに減少傾向にあり、R1はH24に比べ、2.5割ほど減少している。
- ・歯科は、H25をピークに減少傾向にあり、R1はH25に比べ、2.5割ほど減少している。

【診療科目別の割合】

- ・全体の割合は、小児科の割合が約4割、内科が約4割、歯科が約1割、その他が約1割程度で推移している。

③ 患者数 年齢別

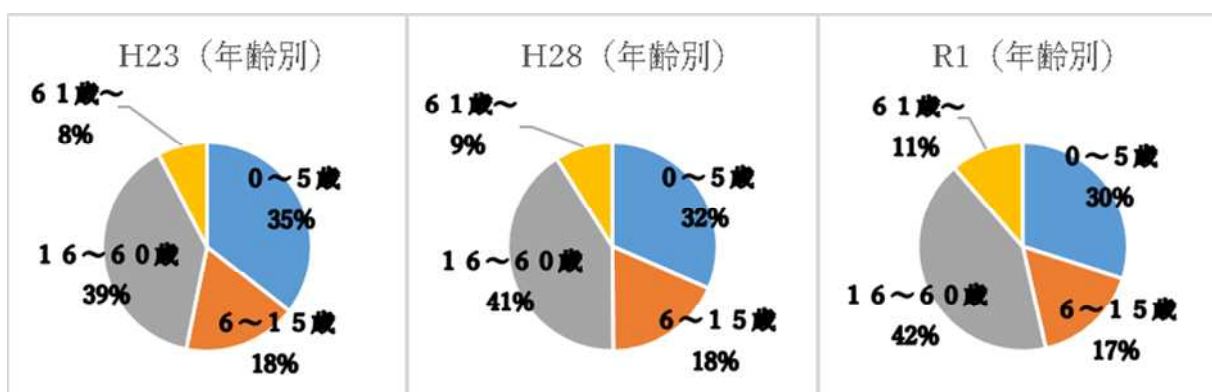


患者数（年齢別）

（単位：人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3※	合計
0～5歳	13,360	13,038	13,209	12,477	12,098	11,507	10,350	9,258	8,482	1,942	2,460	108,181
6～15歳	6,617	6,029	6,425	6,171	6,559	6,711	6,065	5,778	4,677	1,090	945	57,067
16～60歳	14,676	16,612	15,739	16,091	14,844	15,019	13,920	13,874	11,956	4,173	3,010	139,914
61歳以上	2,898	3,398	3,670	3,600	3,240	3,271	3,318	3,296	3,212	1,537	1,097	32,537
合計	37,551	39,077	39,043	38,339	36,741	36,508	33,653	32,206	28,327	8,742	7,512	337,699

※R3は4～12月まで



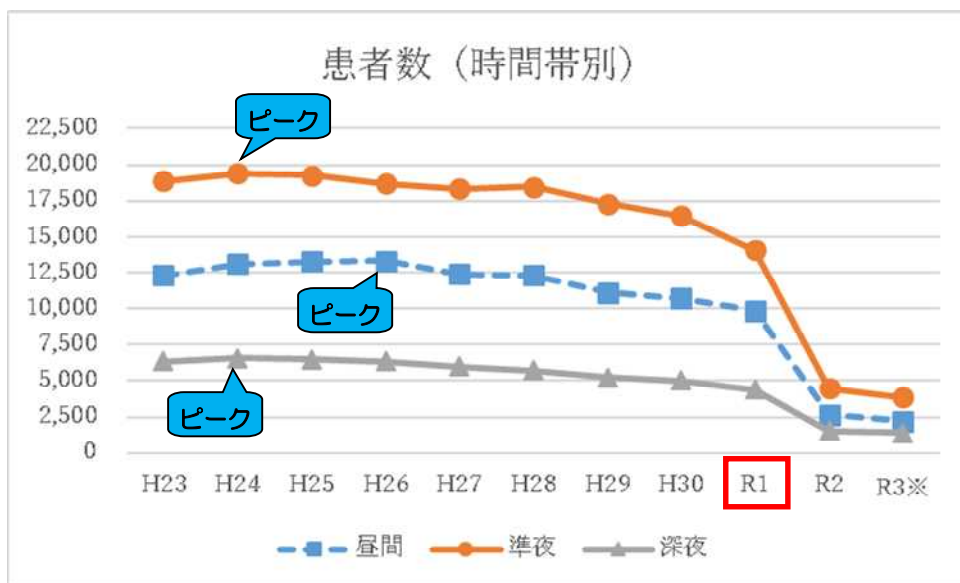
【年齢別の患者数】

- ・0～5歳は、H23をピークに減少傾向にあり、R1はH23に比べ、約3.5割減少している。
- ・6～15歳は、H28をピークに減少傾向にあり、R1はH28に比べ、約3割減少している。
- ・16～60歳は、H24をピークに減少傾向にあり、R1はH24に比べ、約3割減少している。
- ・61歳以上は、H25をピークに減少傾向にあり、R1はH25に比べ、約1割減少している。

【年齢別の割合】

- ・全体の割合は、0～5歳の割合が約3割、6～15歳が約2割、16～60歳が約4割、61歳以上が約1割程度で推移している。

④ 患者数 時間帯別（昼間・準夜・深夜）

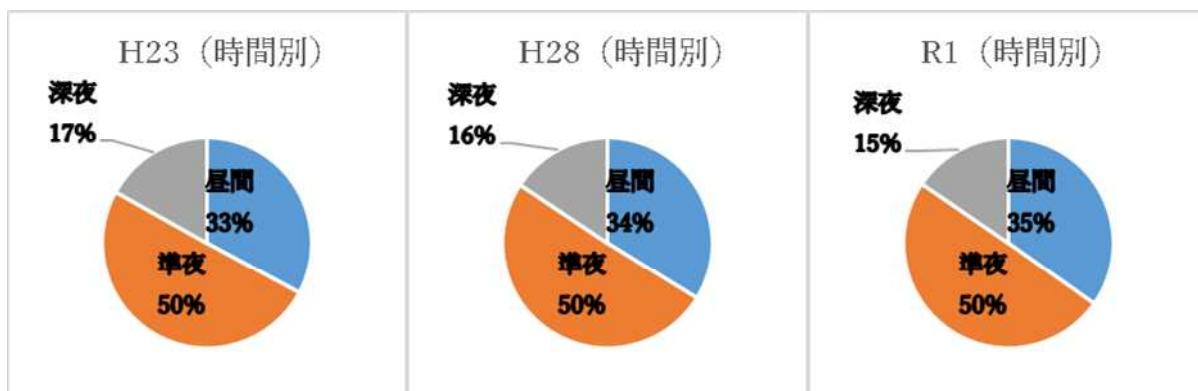


患者数（時間帯別）

（単位：人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3※
昼間	12,324	13,104	13,292	13,327	12,399	12,325	11,084	10,690	9,857	2,679	2,234
準夜	18,871	19,415	19,266	18,681	18,343	18,458	17,342	16,484	14,085	4,492	3,861
深夜	6,356	6,558	6,485	6,331	5,999	5,725	5,227	5,032	4,385	1,571	1,417
合計	37,551	39,077	39,043	38,339	36,741	36,508	33,653	32,206	28,327	8,742	7,512

※R3は4～12月まで



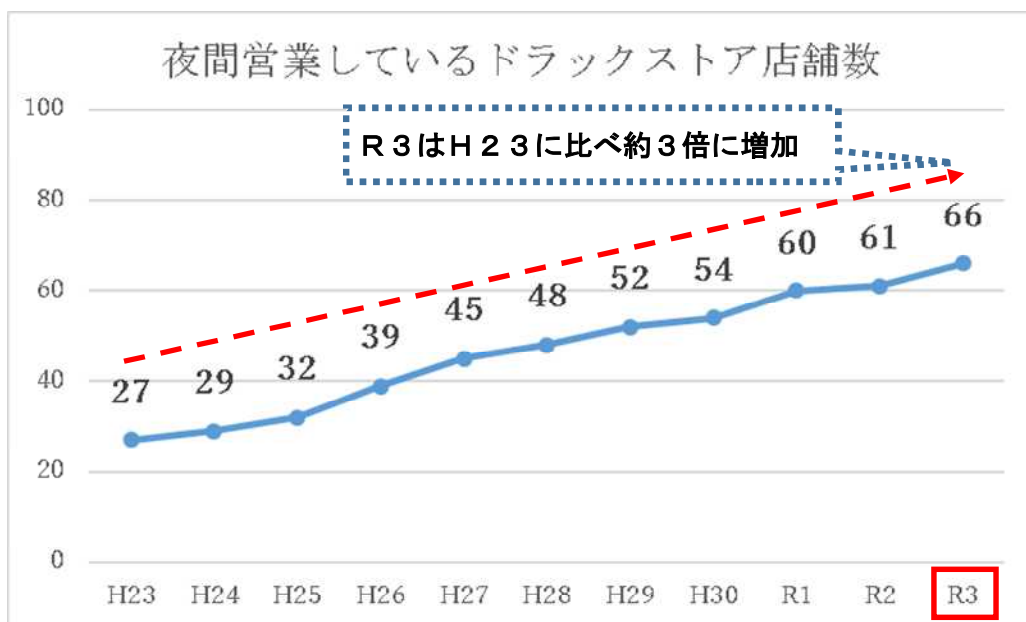
【時間帯別の患者数】

- ・ 昼間は、H26をピークに減少傾向にあり、R1はH26に比べ、約2割減少している。
- ・ 準夜は、H24をピークに減少傾向にあり、R1はH24に比べ、約2.5割減少している。
- ・ 深夜は、H24をピークに減少傾向にあり、R1はH24に比べ、約3割減少している。

【時間帯別の割合】

- ・ 全体の割合は、休日昼間の割合が約3.5割、準夜が5割、深夜が約1.5割程度で推移している。

【参考：夜間営業している営業しているドラッグストア店舗数の推移】



ドラッグストア店舗数（店舗別）

（単位：件）

薬局名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
合計	27	29	32	39	45	48	52	54	60	61	66

※ドラッグストアは、ほとんどの店舗が、年中無休で、21～23時又は24時まで営業している。

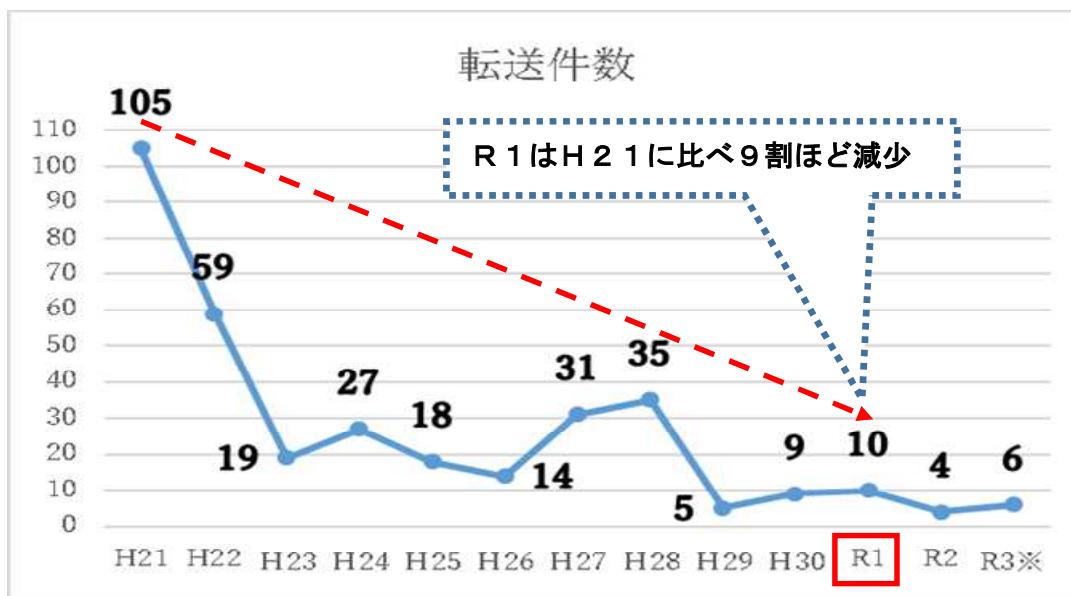
【ドラッグストア数】

・市内のドラッグストア数は増加傾向にあり、R3はH23に比べ、約3倍に増加している。

(2) 夜間休日救急診療所から後方支援病院への転送件数について

【後方支援病院】

・入院の必要はないが経過観察及び点滴などが必要な患者を当診療所から転送するため、内科は4病院、小児科は1病院と当診療所独自で委託契約し、円滑に転送を行う体制を整えている。



後方支援病院への転送件数

(単位：件)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3※
転送件数	105	59	19	27	18	14	31	35	5	9	10	4	6

※R3は4～12月まで

【転送件数】

・後方支援病院への転送件数は減少傾向にあり、R1はH21に比べ、9割ほど減少している。

4 その他

今後も、保健衛生審議会において、関係機関及び関係団体の皆様に情報提供していく。